

# 小学3年 思考力テスト — 解答と解説

1

(1)

イ

21

(2)

ア すゆ

イ しゅこ

ウ らせおそとあう

22

23

24

(3)

エ かまど

オ ぼーりんぐ

カ こーひーぎゅうにゅう

25

26

27

(4)

工

28

2

(1)①

(1)②

晴



下 ←



→ 気



国

計



日 →



→ 間



当

29

30

(例)													(2)	
覚	え	た	い	漢	字	を	文	章	を	書	く	と	き	に
使	う	よ	う	に	し	ま	す	。	じ	っ	さ	い	に	使
つ	て	み	る	こ	と	で	、	使	い	方	や	意	味	を
た	し	か	め	る	こ	と	が	で	き	、	覚	え	た	漢
字	を	わ	す	れ	に	く	い	と	思	う	か	ら	で	す。
														31
														80

3

(1)														
左							右							
4	1	5	3	2										

32 (完答)

(2)														
左							右							
4	2	1	3	5										

33 (完答)

4

(1)		(2)				
16	まい	①	10	まい	②	33

34

35

36

(配点)  
 ①(1)(2)(3)……各5点  
 ①(4)、②(1)……各6点  
 ②(2)……12点  
 ③、④……各7点  
 計100点

## 【解説】

## ① 暗号に関する問題

(1) **B1 情報を獲得する 置き換え**

表1を用いて、きそくにしたがって「すいか」を置きかえると「たわけ」となります。

(2) **B1 情報を獲得する 置き換え**

表1と表3を用いて、きそくにしたがって置きかえます。そのとき、「一」→「う」となることなどに気をつけましょう。

ア「こめ（米）」を置きかえると「すゆ」になります。

イ「けーき（ケーキ）」を置きかえると「しうこ」になります。

ウ「やさいしちゅー（野菜シチュー）」を置きかえると「らせおそとあう」になります。

(3) **B1 情報を獲得する 置き換え**

今度は、きそくにしたがって、置きかえたものをもとにもどします。つまり、表1～表3を見ながら、3つ前にある文字に置きかえることになります。

エ「けめ、ぶ」をもとにもどすと「かまど」になります。

オ「ぱうろうう」をもとにもどすと「ぼーりんぐ（ボーリング）」になります。

カ「すうほうごあかのあか」をもとにもどすと「こーひーぎゅうにゅう（コーヒー牛乳）」になります。

(4) **B2 置き換え 推論**

(3)と同じように、置きかえたものをもとにもどします。まさお君の11月26日の日記から、「きょうは、おひるにはんぱーぐをたべた。おいしかった。」となります。

ちなみに、11月27日の日記をもとにもどすと「きょうは、いちにちあめだった。」、11月28日の日記をもとにもどすと「おねえちゃんからぼーるペんをもらった。」になります。

## ② 漢字に関する問題

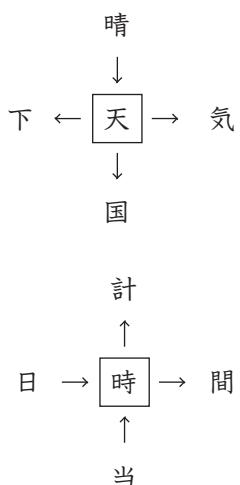
(1) **B1 情報を獲得する 知識 調べる**

① あてはまる漢字は「1年生、2年生で学んだ漢字の表」の「小学  
校1年生で学習する漢字」から選び、じゅく語はやじるしの方向  
に読む点に注意します。

すると、□には「天」があてはまることがわかります。

このとき、できるじゅく語は、「晴天」「天下」「天国」「天気」です。

② 「小学校2年生で学習する漢字」から選ぶことに注意します。する  
と、□には「時」があてはまることがわかります。このとき、  
できるじゅく語は、「時計」「日時」「当時」「時間」です。



(2) **C1 理由 推論 具体・抽象**

あなたが漢字を覚えるときにしている工夫、その工夫のよい点を書きます。たとえば、学んだ漢字を毎日使ってみるとが挙げられます。実際に漢字を使うと、その使い方や意味もよく理解できるので、覚えた漢字をわざわざ覚えることがあります。また、よく目につく所に、覚えたい漢字を書いた紙をはっておくことも1つの方法です。漢字を目にのける機会をふやすことで、覚えたい漢字が頭に残りやすいと言えます。他にもさまざまな方法が考えられます。あなたはどのような工夫をしていますか。その工夫のよい点を考えながら、ふり返ってみましょう。この問題では、①漢字を覚えるときにする工夫が書かれているかどうか、②①の工夫のよい点が書かれているかどうか、③①～②に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、④ます目の使い方が正しいかどうか、⑤表現や表記に誤りがないか、⑥字数制限を満たしているかどうかを中心に見てみます（ただし、40字以上60字未満の解答については、①～③のみ採点対象とし、④～⑥は採点対象としません。また、40字に満たない解答は①～⑥全て採点対象としません）。

(3) **数を推理する問題**(1) **B1 情報を獲得する 調べる 順序立てて筋道をとらえる**

カードを左からA、B、C、D、Eとして考えます。

- ・ヒント②より、Cは5とわかり、「A、B、5、D、E」となります。
- ・ヒント③より、Dは3とわかり、「A、B、5、3、E」となります。
- ・ヒント①、②より、1は4と5の間にあるので、Aが4、Bが1とわかり、「4、1、5、3、E」となります。

残ったEは2となるので、カードのならび順は左から4、1、5、3、2となります。

(2) **B2 情報を獲得する 調べる 順序立てて筋道をとらえる 特定の状況を仮定する**

同じようにカードを左からA、B、C、D、Eとして考えます。

- ・ヒント①より、Cは1とわかります。
- ・ヒント③より、Bは2とわかります。

ここまでで、カードのならび順は左から「A、2、1、D、E」となります。

ヒント②より、3がA、D、Eのどこになるかを考えます。

- ・Aが3の場合

「3、2、1、D、E」となり、3より左にあるカードが1まいもありません。ですから、Aは3ではありません。

- ・Dが3の場合

「A、2、1、3、E」となり、7-2-1=4から、Aが4とわかります。このとき、残ったEは5となります。

- ・Eが3の場合

「A、2、1、D、3」となり、3より左にあるカードの数字の合計が、1+2+4+5=12と、7より大きくなってしまいます。そのため、Eは3ではありません。

これらのことから、Dは3、Aは4、Eは5とわかるので、カードのならび順は左から4、2、1、3、5となります。

## ④ 整理してかぞえる問題

(1) **B1 情報を獲得する 再現する**

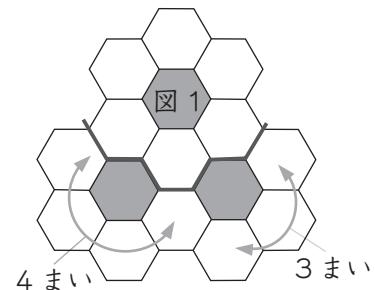
問題の図1には全部で7まい (= 1 + 6) のタイルがあります。

右の図で、太い線より下にあるタイルが図1よりふえたところです。

問題の図2には図1より、黒のタイルは2まい多くあります。

その黒のタイルのまわりにあるふえた白のタイルをかぞえると、白のタイルは図1より  $4 + 3 = 7$  (まい) 多いことがわかります。

ですから、全部で  $7 + 2 + 7 = 16$  (まい) です。

(2) **B2 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 特定の状況を仮定する**

① 黒のタイルは、図1では1まい、図1から図2では2まいふえ、図2から図3では3まいふえているので、図3から図4では4まいふえると考えられます。ですから、図4には黒のタイルは  $1 + 2 + 3 + 4 = 10$  (まい) ならびます。

② 問題の図3には図2より、黒のタイルは3まい多くあります。

その黒のタイルのまわりにあるふえた白のタイルをかぞえると、次の図のように白のタイルは図2より  $4 + 2 + 3 = 9$  (まい) 多いことがわかります。

図2の白のタイルは  $6 + 7 = 13$  (まい) なので、図3の白のタイルは  $13 + 9 = 22$  (まい) です。図4には図3より、黒のタイルは4まい多くあります。その黒のタイルのまわりにあるふえる白のタイルのまい数は、 $4 + 2 + 2 + 3 = 11$  (まい) とわかります。ですから、図4には白のタイルは  $22 + 11 = 33$  (まい) ならびます。

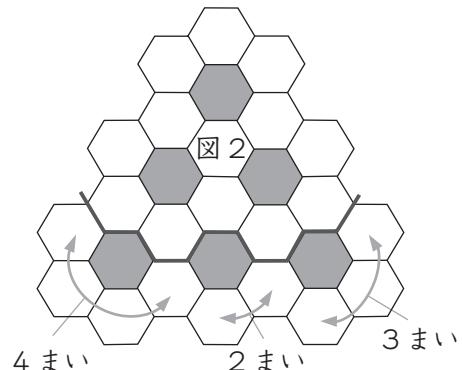


図4

